【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】令和4年12月27日(2022.12.27)

【公開番号】特開2022-103432(P2022-103432A)
【公開日】令和4年7月7日(2022.7.7)
【年通号数】公開公報(特許)2022-123
【出願番号】特願2022-83506(P2022-83506)
【国際特許分類】
Ｇ０７Ｆ 11/56(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０７Ｆ 11/56

【手続補正書】
【提出日】令和4年12月19日(2022.12.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
物品を供給可能な物品供給装置であって、
装置本体と、
前記装置本体に着脱可能であって、上面を開口とした箱状の容器と、
前記容器に設けられ、前記容器内に収容されている物品を配給する配給部と、
前記容器の下壁部に設けられ、前記配給部を回転可能に配置している配置凹部と、を備え、
前記配置凹部は、前記容器の下壁部の下面から下方に突出し、前記配置凹部の外形の右面及び左面の少なくとも一部を平行な平坦面とし、その他の面を曲面としている、
物品供給装置。
【請求項２】
前記配置凹部は、下面視で円状の有底筒状部を構成し、
前記有底筒状部の外周面が前記平坦面及び前記曲面を含むように構成されている、
請求項１に記載の物品供給装置。
【請求項３】
前記配置凹部は、前記容器を前記装置本体に装着する際の位置決めに利用可能に構成されている、
請求項１又は２に記載の物品供給装置。
【請求項４】
前記配給部は、その上面から上方に突出した高背部及び低背部と、複数の物品保持孔とを含み、
前記高背部は、前記物品保持孔の近傍であって回転方向後側に設けられ、前記低背部は、前記物品保持孔の近傍であって回転方向前側に設けられている、
請求項１～３の何れか１項に記載の物品供給装置。
【請求項５】
前記高背部及び前記低背部は、上面視が弓状を成している、
請求項４に記載の物品供給装置。
【請求項６】
前記装置本体は、前記容器が前記装置本体に装着されている状態において、前記容器の

前記開口を覆う天板部を含み、
　天板部は、平坦な上面を含み、前記装置本体に着脱可能に構成されている、
　請求項１～５の何れか１項に記載の物品供給装置。
【請求項７】
　前記容器は、前壁部と、前壁部に連なった右壁部及び左壁部とを含み、
　前記前壁部と、前記右壁部及び前記左壁部との境界部分が各々、直線を成すように構成されている、
　請求項１～６の何れか１項に記載の物品供給装置。
【請求項８】
　前記容器には、前記配給部の上にある物品を攪拌する攪拌部が設けられ、
　前記物品配給部は、複数の物品保持孔を含み、
　前記攪拌部は、その先端が前記物品保持孔の上に位置するように設けられている、
　請求項１～７の何れか１項に記載の物品供給装置。
【請求項９】
　前記攪拌部は、その部位に応じて異なる方向を向くように構成されている、
　請求項８に記載の物品供給装置。
【請求項１０】
　前記装置本体に設けられ、前記配給部から配給された物品を取り出し可能な取出口をさらに備え、
　前記取出口は、シャッター部により覆われるように構成され、
　前記シャッター部は、前記取出口に導かれた物品の移動を停止させるように構成されている、
請求項１～９の何れか１項に記載の物品供給装置。